

## 株主メモ (証券コード：2911)

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領株主  
確定日 3月31日

中間配当金受領株主  
確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月に開催

株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
電話 0120-094-777 (通話料無料)

公告方法 電子公告  
当社ホームページ <http://www.asahimatsu.co.jp/> に掲載

単元株式数 1,000株

上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部

株主様へのご優待 3月31日現在で、1,000株以上ご所有の株主各位に対し、3,000円相当の凍豆腐、生みそすい(即席みそ汁等)、当社製品の詰め合わせを贈呈いたします。

### 【株式に関するお手続きについて】

1. 住所変更、単元未満株の買取などのお申し出

証券会社に口座のある株主様 ⇨ 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

特別口座に口座のある株主様 ⇨ 特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

2. 未受領の配当金の支払いのお申し出

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社に口座(特別口座)を開設しております。特別口座についてのご照会等の各種お申し出は、上記連絡先をお願いいたします。

# 第65期報告書

平成26年4月1日 ▶ 平成27年3月31日



▶ 株主の皆様へ



代表取締役社長 木下 博隆

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに第65期報告書（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府・日銀による経済政策・金融緩和策を背景に、企業収益や雇用情勢などでは改善傾向が見受けられたものの、個人消費については、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の長期化に加えて、為替変動（円安進行）に起因する物価上昇や消費マインドの低迷等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

食品業界においては、国内市場での競争激化のなかで、物価上昇による購買意欲の低下・低価格志向が継続している上、フードディフェンスを含めた品質の向上については、より一層の取り組み強化が求められております。

このような状況のなか、当社グループは、穀物相場の高止まりや円安による原材料調達価格の上昇など自助努力だけでは吸収しきれない部分を販売価格へ転嫁すべく、主力事業の凍豆腐、加工食品を中心とした収益構造の改善に継続して努めてまいりました。

その結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は、価格転嫁による売上減少が大きく93億6千5百万円（前年同期比7.1%減）となりました。

利益面では、売上原価の増加を受け営業損失は2億7千2百万円（前年同期は2億6千2百万円の損失）、また、経常損失は2億5千万円（前年同期は2億3千2百万円の損失）となりました。特別利益では退職給付信託の設定益を2億6千3百万円計上いたしました。特別損失では退職給付費用2億1百万円を計上したことなどから当期純損失は2億1千2百万円（前年同期は10億2千7百万円の損失）となりました。

部門別概況は、次のとおりであります。

【凍豆腐部門】

凍豆腐では、当社グループ独自の新たな製法による減塩タイプの凍豆腐を積極的に拡販してまいりました。この製法は重曹を用いた加工から、体内の余分な塩分の排出効果があるとされている炭酸カリウム加工に変更し、より健康に配慮したものとなっております。さらに平成26年9月1日より価格改定を実施し、原材料等の価格高騰分の転嫁を進めてまいりました。また、最需要期となる年末には、主力の関西市場でのインフォーマーシャルを実施したほか、テレビ番組による凍豆腐の効能紹介やメニュー提案をとりあげた放送もあり、和食の無形文化遺産登録を追い風に市場の維持拡大に努めました。しかし、販売価格の是正と同時に販売促進費の削減も行っていました結果、販売数量は減少し、売上高は36億7千3百万円（前年同期比6.5%減）と減少いたしました。

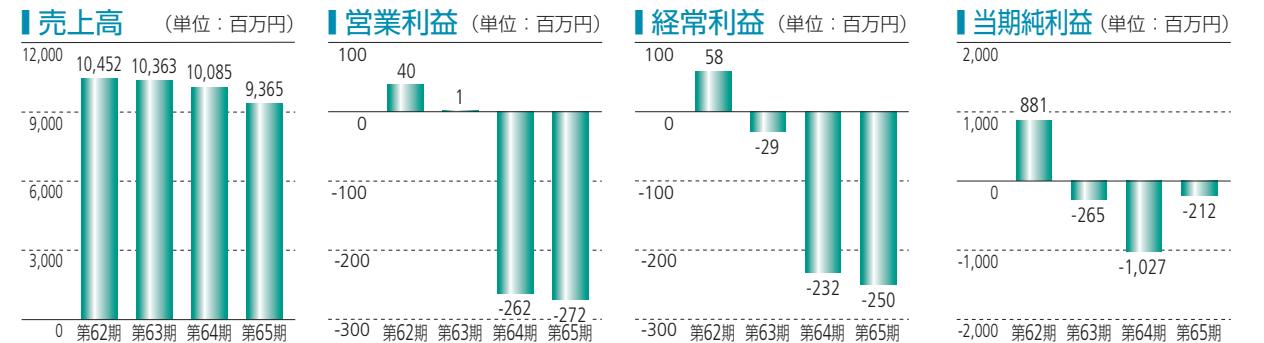
【加工食品部門】

加工食品においては、袋入りタイプ、カップ入りタイプともに新商品を継続的に発売してまいりました。カップ入りタイプにつきましては、本場ベトナムの味を再現した「カップチキンフォー」「カップビーフフォー」を発売するなど順調に推移いたしました。袋入り徳用タイプでは低価格競争が激しく販売数量は減少し、さらに凍豆腐と同様に販売促進費の削減などを実施した影響から、売上高は39億5千5百万円（前年同期比11.1%減）となりました。

【その他部門】

その他部門では医療用食材などが継続して堅調に推移しており、売上高は17億1百万円（前年同期比1.5%増）と増加いたしました。

▶ 業績の推移



トピックス

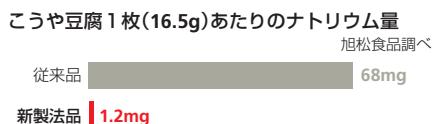
旭松食品の「こうや豆腐」が新しく生まれ変わりました！

新製法の「新あさひ豆腐」は、**健康**と**おいしさ**がキーワード  
(特許出願中)



1 「低ナトリウム」でより健康的に！  
減塩生活をサポートします。

従来の製法では、こうや豆腐1枚あたり68mg含まれていたナトリウムが今回の新製法で1.2mgに抑えることができました。食塩（ナトリウム）の摂り過ぎと高血圧の関係はよく知られており、一般的に高血圧の予防には食塩（ナトリウム）を減らした方がよいとされています。新製法（特許出願中）の新あさひ豆腐は、こうした「目に見えにくい食塩（ナトリウム）」にもしっかり配慮したやさしいこうや豆腐です。



食塩摂取量（平均値）の年次推移（20歳以上）



平成25年国民健康・栄養調査結果の概要（厚生労働省）  
現在の日本人の1日あたりの平均食塩摂取量は、年々減少傾向にありますが、男女とも目標量まで届いていません。

2 カリウムが従来品の25倍以上に！

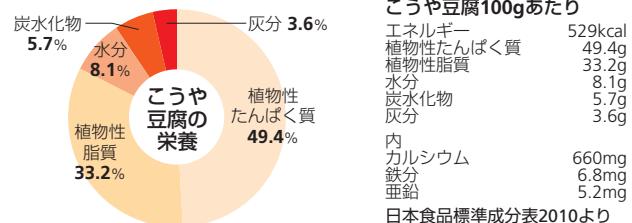
新製法（特許出願中）の新あさひ豆腐は、体内の余分な塩分の排出を手助けするカリウムが、従来品の25倍以上も含まれています。

こうや豆腐1枚(16.5g)あたりのカリウム量



3 こうや豆腐は健康維持を支える「スーパー食材」

「こうや豆腐」の半分は、良質な植物性たんぱく質でできています。日々の食生活で不足しがちな鉄分やカルシウムもたっぷり含まれています。



こうや豆腐100gあたり

エネルギー	529kcal
植物性たんぱく質	49.4g
植物性脂質	33.2g
水分	8.1g
炭水化物	5.7g
灰分	3.6g
内	
カルシウム	660mg
鉄分	6.8mg
亜鉛	5.2mg

日本食品標準成分表2010より

4 ふっくらおいしい！  
栄養豊富なこうや豆腐は、  
手軽でおいしい

新製法（特許出願中）でも湯戻しなしで、簡単に調理でき、ふっくらやわらかい食感を楽しむことができます。



こうや豆腐には血中のコレステロール低下作用、中性脂肪上昇抑制作用などの脂質代謝改善効果を有する「レジスタントタンパク」を多く含んでおります。

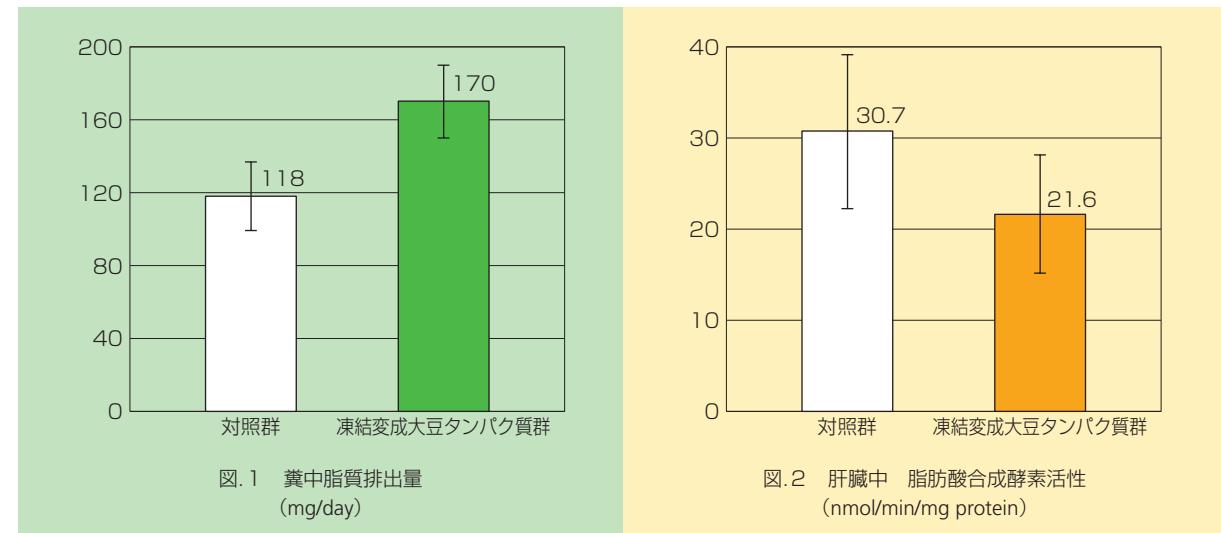
凍豆腐の最新健康機能性研究について

これまでのヒト試験による研究により、凍豆腐にはコレステロールの調節や中性脂肪上昇抑制効果があることが明らかになっており、その主たる要因が凍豆腐のタンパク質に含まれる「レジスタントタンパク」によるものと考えられています。

今回、メカニズムをより明確にする目的でラットによる動物試験を行い、その結果を第12回アジア栄養学会議（2015年5月14-17日、横浜）にて発表いたしました。

その内容として、凍豆腐タンパク質を摂取した群では、糞中へ排出された脂質の量が増加しており（図1）、これまでの推察を裏付ける結果が得られました。それに加えて、肝臓中で脂質を合成する酵素の働きが弱くなっており（図2）、凍豆腐摂取によって脂質の合成量が減少している可能性があることも新たに分かりました。

凍豆腐には、レジスタントタンパクの他にも優れた栄養素が多く含まれております。今後も様々な研究を行い、凍豆腐の良さを追求し、伝えてまいります。



▶ 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 平成26年3月31日現在	当連結会計年度 平成27年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,980,959	1,989,403
受取手形及び売掛金	2,129,811	1,867,907
たな卸資産	1,007,778	1,067,504
繰延税金資産	1,940	884
その他	114,951	81,442
貸倒引当金	△5,023	△5,224
流動資産合計	5,230,418	5,001,916
固定資産		
有形固定資産	3,372,448	3,518,945
無形固定資産	487,745	446,116
投資その他の資産	571,047	230,422
固定資産合計	4,431,241	4,195,484
資産合計	9,661,660	9,197,400
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	883,801	762,289
短期借入金	36,648	231,134
リース債務	6,377	4,777
未払金	923,087	412,541
未払法人税等	18,429	17,468
賞与引当金	34,275	25,942
設備関係支払手形	58,017	41,002
繰延税金負債	—	2,060
その他	130,306	176,166
流動負債合計	2,090,943	1,673,383
固定負債		
長期借入金	6,981	655,410
リース債務	14,700	9,913
繰延税金負債	168,610	94,811
退職給付に係る負債	494,142	315,399
資産除去債務	47,053	47,720
その他	14,100	8,100
固定負債合計	745,587	1,131,355
負債合計	2,836,530	2,804,738
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,632,423
利益剰余金	3,449,567	3,209,875
自己株式	△127,577	△128,221
株主資本合計	6,572,258	6,331,922
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	142,437	19,385
繰延ヘッジ損益	—	4,221
為替換算調整勘定	91,379	143,197
退職給付に係る調整累計額	△24,394	△155,332
その他の包括利益累計額合計	209,422	11,471
少数株主持分	43,447	49,268
純資産合計	6,825,129	6,392,662
負債及び純資産合計	9,661,660	9,197,400

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで	当連結会計年度 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
売上高	10,085,984	9,365,648
売上原価	7,939,518	7,286,938
売上総利益	2,146,465	2,078,709
販売費及び一般管理費	2,408,959	2,351,023
営業損失(△)	△262,494	△272,313
営業外収益	34,082	32,569
営業外費用	3,669	11,000
経常損失(△)	△232,080	△250,744
特別利益	3,534	287,566
特別損失	782,736	244,115
税金等調整前当期純損失(△)	△1,011,282	△207,293
法人税、住民税及び事業税	14,593	13,497
法人税等調整額	△206	△8,629
少数株主損益調整前当期純損失(△)	△1,025,669	△212,161
少数株主利益	1,344	62
当期純損失(△)	△1,027,014	△212,224

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位：千円)

項目	株主資本				その他の包括利益累計額						少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当 期 首 残 高	1,617,844	1,632,423	3,449,567	△127,577	6,572,258	142,437	—	91,379	△24,394	209,422	43,447	6,825,129
当 期 変 動 額	—	—	△27,467	—	△27,467	—	—	—	—	—	—	△27,467
剰 余 金 の 配 当	—	—	△212,224	—	△212,224	—	—	—	—	—	—	△212,224
当 期 純 損 失 (△)	—	—	—	△644	△644	—	—	—	—	—	—	△644
自 己 株 式 の 取 得	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の 当 期 変 動 額 (純 額)	—	—	—	—	—	△123,052	4,221	51,817	△130,938	△197,951	5,820	△192,131
当 期 変 動 額 合 計	—	—	△239,692	△644	△240,336	△123,052	4,221	51,817	△130,938	△197,951	5,820	△432,467
当 期 末 残 高	1,617,844	1,632,423	3,209,875	△128,221	6,331,922	19,385	4,221	143,197	△155,332	11,471	49,268	6,392,662

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで	当連結会計年度 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	125,896	△859
投資活動によるキャッシュ・フロー	△470,780	△810,592
財務活動によるキャッシュ・フロー	△53,324	808,411
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,706	11,483
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△391,501	8,442
現金及び現金同等物の期首残高	1,217,432	825,931
現金及び現金同等物の期末残高	825,931	834,373

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

POINT

連結・個別とも同様の為、  
8ページに記載しております。

貸借対照表

(単位：千円)

科目	前事業年度 平成26年3月31日現在	当事業年度 平成27年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,837,803	1,779,377
受取手形	20,111	20,015
売掛金	2,027,047	1,758,693
商品及び製品	266,696	347,338
仕掛品	236,961	257,778
原材料及び貯蔵品	431,301	399,780
前渡金	29,902	16,858
前払費用	26,836	22,238
その他	82,538	48,557
貸倒引当金	△606	△486
流動資産合計	4,958,592	4,650,152
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	2,945,768	3,118,290
無形固定資産	469,974	426,358
投資その他の資産	941,526	598,078
固定資産合計	4,357,270	4,142,728
<b>資産合計</b>	<b>9,315,863</b>	<b>8,792,880</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形	52,643	43,139
買掛金	711,558	600,239
1年内返済予定の長期借入金	—	189,972
リース債務	2,547	2,431
未払金	985,276	490,288
未払費用	100,531	98,504
未払法人税等	18,429	16,013
未払消費税等	4,381	38,434
預り金	7,388	7,239
賞与引当金	31,963	24,004
設備関係支払手形	58,017	41,002
繰延税金負債	—	2,060
その他	40	40
流動負債合計	1,972,778	1,553,370
<b>固定負債</b>		
リース債務	6,675	4,244
長期借入金	—	644,211
長期預り保証金	4,350	4,350
繰延税金負債	168,610	94,811
退職給付引当金	469,748	160,066
長期未払金	3,750	3,750
資産除去債務	47,053	47,720
固定負債合計	700,188	959,153
<b>負債合計</b>	<b>2,672,966</b>	<b>2,512,523</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,632,423
利益剰余金	3,377,768	3,134,703
自己株式	△127,577	△128,221
株主資本合計	6,500,459	6,256,749
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	142,437	19,385
繰延ヘッジ損益	—	4,221
評価・換算差額等合計	142,437	23,607
<b>純資産合計</b>	<b>6,642,897</b>	<b>6,280,356</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>9,315,863</b>	<b>8,792,880</b>

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：千円)

科目	前事業年度 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで	当事業年度 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
売上高	9,697,093	8,973,673
売上原価	7,647,048	6,984,468
売上総利益	2,050,044	1,989,205
販売費及び一般管理費	2,337,339	2,276,534
営業損失(△)	△287,294	△287,329
営業外収益	40,992	43,201
営業外費用	2,202	6,128
経常損失(△)	△248,504	△250,256
特別利益	1,433	280,334
特別損失	782,736	244,115
税引前当期純損失(△)	△1,029,808	△214,037
法人税、住民税及び事業税	9,930	11,245
法人税等調整額	△285	△9,685
当期純損失(△)	△1,039,453	△215,597

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

POINT ① 売上高

価格転嫁による売上減

POINT ② 特別利益

退職給付信託の設定

POINT ③ 特別損失

退職給付費用の計上

株主資本等変動計算書

当事業年度(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位：千円)

項目	株主資本							評価・換算差額等			純資産合計		
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益		評価・換算差額等合計	
		資本準備金	利益準備金	買換資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金							利益剰余金合計
当 期 首 残 高	1,617,844	1,632,423	155,900	177,768	4,000,000	△955,900	3,377,768	△127,577	6,500,459	142,437	—	142,437	6,642,897
当 期 変 動 額	—	—	—	9,081	△1,000,000	△9,081	—	—	—	—	—	—	—
買換資産圧縮積立金の積立	—	—	—	9,081	—	△9,081	—	—	—	—	—	—	—
別途積立金の取崩	—	—	—	—	△1,000,000	1,000,000	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△27,467	△27,467	—	△27,467	—	—	—	△27,467
当期純損失(△)	—	—	—	—	—	△215,597	△215,597	—	△215,597	—	—	—	△215,597
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	△644	△644	—	—	—	△644
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△123,052	4,221	△118,830	△118,830
当 期 変 動 額 合 計	—	—	—	9,081	△1,000,000	747,853	△243,065	△644	△243,709	△123,052	4,221	△118,830	△362,540
当 期 末 残 高	1,617,844	1,632,423	155,900	186,849	3,000,000	△208,046	3,134,703	△128,221	6,256,749	19,385	4,221	23,607	6,280,356

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 株式の状況 (平成27年3月31日現在)

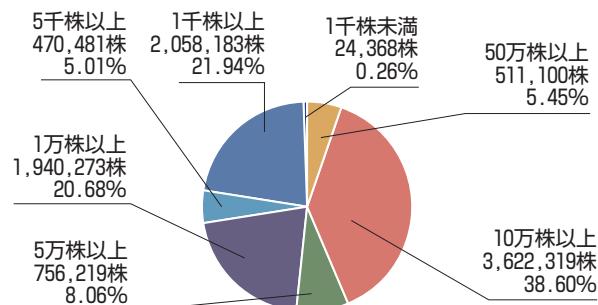
- ①発行可能株式総数 28,400,000株
- ②発行済株式の総数 9,382,943株
- ③株主数 2,068名
- ④大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
三菱商事株式会社	511,100株	5.58%
株式会社八十二銀行	452,600株	4.94%
木下博隆	279,488株	3.05%
赤羽源一郎	275,170株	3.00%
関西国分株式会社	274,428株	2.99%
藤徳物産株式会社	274,428株	2.99%
旭松食品従業員持株会	258,742株	2.82%
佐々木寛雄	257,402株	2.81%
熊谷政敏	226,528株	2.47%
株式会社大乾	224,428株	2.45%

※当社は自己株式229,105株を所有しておりますが、上記大株主からは除いております。

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

▶ 所有株式数別分布状況



▶ 取締役及び監査役 (平成27年6月26日現在)

代表取締役社長 木下博隆

取締役 蒲田充浩  
経営企画部長

取締役 村沢久司  
品質保証部長  
兼研究開発統括部長  
兼研究所長

取締役 藤森明仁

取締役 田中健一郎

常勤監査役 佐々木寛雄

監査役 狩野拓一

監査役 伊坪眞

※取締役湯沢浩人氏は、平成27年6月26日開催の定時株主総会終結の時をもって任期満了により退任されました。

※藤森明仁氏及び田中健一郎氏は平成27年6月26日開催の定時株主総会で選任された新任の取締役です。

※狩野拓一氏は平成27年6月26日開催の定時株主総会で選任された新任の監査役です。

▶ 会社の概要 (平成27年3月31日現在)

商号 旭松食品株式会社  
ASAHIMATSU FOODS CO.,LTD.

本店 長野県飯田市駄科1008番地  
本社 大阪市淀川区田川三丁目7番3号

設立 昭和25年12月19日

資本金 1,617,844,105円

主な子会社 旭松フレッシュシステム株式会社、青島旭松康大食品有限公司、青島旭松康大進出口有限公司、新鮮納豆株式会社（第65期決算では連結対象外です）

従業員数 グループ人員：360名（33名減）  
当社人員：249名（26名減）

主な事業内容 大豆加工製品の製造及び販売

主要製品 家庭用凍豆腐、業務用凍豆腐、即席みそ汁、スープ類

主要な拠点 当社の主要な営業所及び工場

- 本店 長野県飯田市駄科1008番地
  - 本社 大阪市淀川区田川三丁目7番3号
  - 支店 東日本支店（東京都中央区）・西日本支店（大阪市淀川区）
  - 営業所 仙台営業所（宮城県）・名古屋営業所（愛知県）  
岡山営業所（岡山県）・福岡営業所（福岡県）
  - 工場 天竜第一工場・天竜第二工場・飯田工場・伊那工場（以上 長野県）
  - 研究施設 食品研究所（長野県）
- 平成27年4月1日付の組織変更により上記の名称となりました。

旭松フレッシュシステム株式会社

本社 長野県飯田市駄科1008番地

営業所 飯田営業所（長野県）

物流センター 高森低温物流センター（長野県）

青島旭松康大食品有限公司

本社 中国山東省青島市

青島旭松康大進出口有限公司

本社 中国山東省青島市

ホームページアドレス <http://www.asahimatsu.co.jp/>